

震災語り部

未曾有の大震災を体験した「震災語り部」が、記憶や教訓、被災地の復旧・復興状況などをお話します。

震災語り部による定期講話

当館では、毎週土日・祝日の午前(10:30～)と午後(14:00～)に、語り部による無料の定期講話を開催しています(各回60分程度)。

※イベント等により、中止や開催時間を変更する場合がありますので、当館ホームページでご確認ください。

団体・個人による震災語り部の講話のご依頼

出張講話、館内(みらい館)での講話、ガイドツアー形式(語り部が観光バス等に同乗し、被災地域を案内)での講話、オンラインでの講話等、各種ご依頼に対応します。

また、講話内容、視察コース等のご相談も承ります。語り部のご依頼

は、当館ホームページ掲載の「震災語り部依頼書」をご記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。なお、語り部講話のご依頼は語り部への謝礼が必要となります。



震災関連資料の収集

東日本大震災の記憶や教訓を後世に継承していくため、当時の状況や復興に向けた取組みの様子を伝える「震災関連資料」の収集を行っております。

現物・写真等の提供について

ご提供いただける資料をお持ちの方は、当館まで電話やメール等でご連絡下さい。



資料の活用について

収集した資料は、当館において整理と分類を行い「震災アーカイブ」として一元的に管理・活用(公開など)させていただきます。



ポケット学芸員(展示物ガイドアプリ)

当館の展示物は、「ポケット学芸員」のアプリで文字と音声の両面で解説を受けることができます。お客様のスマートフォンにダウンロードしていただくか、当館で貸し出ししているタブレットにてご利用いただけます。



バスでお越しの場合

- ・JRいわき駅南口から、新常磐交通バス泉駅前行き(豊間・江名経由)乗車、『灯台入口』停留所下車 徒歩3分
- ・JR泉駅から、新常磐交通バスいわき駅前行き(江名・豊間経由)乗車、『灯台入口』停留所下車 徒歩3分

タクシーでお越しの場合

- ・JRいわき駅南口から約25分

お車でお越しの場合

- ・常磐自動車道 いわき中央ICから約30分
- ・常磐自動車道 いわき湯本ICから約35分
- ・常磐自動車道 いわき勿来ICから約40分

利用案内

開館時間 9:00～17:00 ※入館は16:30まで

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始
※諸般の事情により、開館時間の短縮や臨時休館をさせていただきます。

入館料 無料

利用予約 10名以上の団体でご利用される場合は、事前予約が必要です。
※お申し込みの後、各種調整をいたしますので、ご希望に添えない場合もあります。

その他 貸出車イス2台、AED、FreeWi-Fi

●所在地
〒970-0229 福島県いわき市薄磯三丁目11

●お問合せ先(震災語り部、震災関連資料等)

TEL.0246-38-4894

FAX.0246-38-4895

ホームページ

<https://memorial-iwaki.com/>

※当館ホームページのメールフォームからもお問い合わせいただけます。



ホームページQRコード

いわき 震災伝承 みらい館

Iwaki 3.11
Memorial and Revitalisation
Museum

震災の記憶と教訓を

未来につなぐ

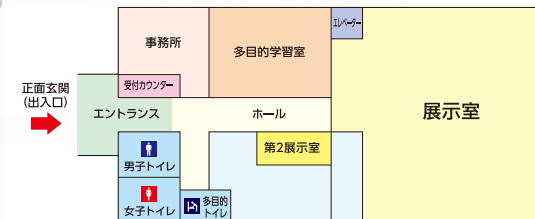


震災の記憶と教訓を未来につなぐ

いわき震災伝承みらい館は、東日本大震災での津波被災地に立地し、パネルや映像、被災した学校の備品など多様な展示を通して、いわき市における震災の記憶や教訓を伝えています。



フロアガイド



- 多目的学習室** … 最大席数約30席（常時教訓の映像を上映。団体利用時には防災教育DVD等の視聴が可能）
- 展示室** … 最大収容人数約60名（常設展示のほか、企画展を開催する場合があります。）
- 第2展示室** … 収容人数6名（催し物や展示物の内容によっては収容人数が増減することがあります。）
- 2F展望デッキ** … 2階へは階段又はエレベーターをご利用ください。
※上記最大人数は、新型コロナウイルス感染症対策及び企画展等により、制限させていただく場合があります。



井戸沢断層（塩ノ平断層）剥ぎ取り標本

東日本大震災のちょうど1か月後の4月11日に発生した「福島県浜通り地震」によって出現した断層の剥ぎ取り標本を展示。



パネル展示

発災から復旧・復興までの道のりをテーマごとに時系列で展示。



メイン映像（約10分）

本市を襲った津波の映像や、復旧・復興の様子を200インチモニターで上映。



被災現物展示

卒業式当日に津波被害にあった中学校の黒板や机、「奇跡のピアノ」などの実物を展示。

2F展望デッキ

津波被災地の復旧・復興の様子や美しい薄磯海岸が一望できるスポット。現在の景色と震災前の薄磯地区を比較できるパネルを設置。



ハンズオン展示

直接手に触れて学べる防災グッズ等の体験型展示。



タッチパネル展示

タッチパネルを操作してクイズ形式で学んだり、市内各地域の写真を見たりできる体験型展示。



原発事故関連資料

サーベイメーターや積算線量計、安定ヨウ素剤、事故当時の新聞記事等の現物資料を展示。

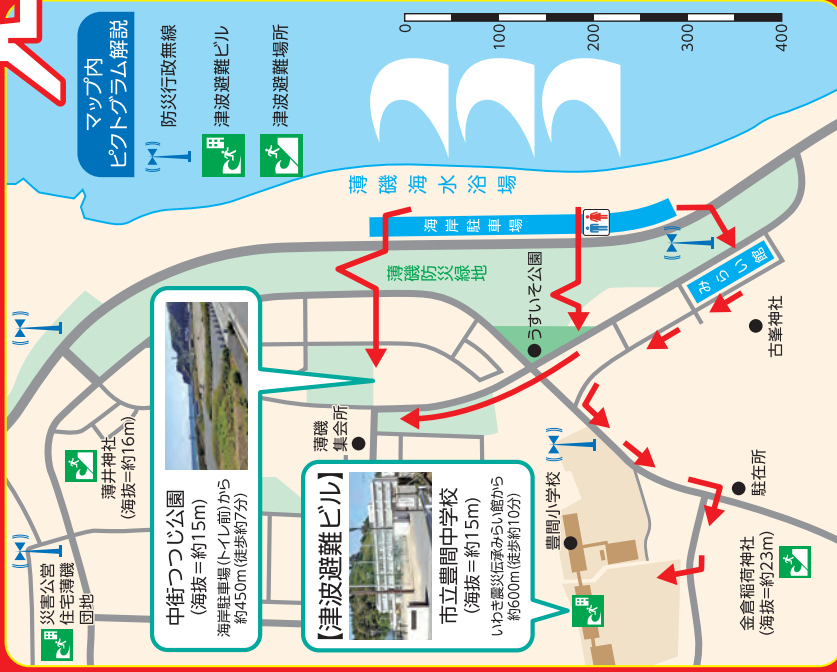


第2展示室

不定期で催し物等を展示しているスペース（写真は令和4年8月～10月の期間展示していた「あんばさまのまち展～神様の宿るまち。日々の暮らしと再生への希望～」）

薄磯地区 津波避難マップ

Tsunami evacuation map of Usuiso district



津波避難時に注意すること

- 1 地震が起きたら、まず避難!**
津波は、強い地震だけでなく、弱い地震でも起こることがあります。長くゆっくりとした揺れを感じたらすぐに避難してください。
- 2 より高いところへ、より遠くへ避難!**
まずは、高いところへ逃げることを心がけてください。海岸・河川から離れ、できるだけ遠くへ逃げてください。
- 3 津波は繰り返し襲ってくる!**
津波は、第1波より第2波、第3波と大きくなる場合があります。波が落ち着くまで避難を継続することが重要です。
- 4 津波のスピードは速い!**
津波注意報や津波警報が発令される前に津波が来る場合もあります。直ちに避難しましょう。
- 5 満潮時は要注意!**
満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

薄磯地区 エリアマップ

Area map of Usuiso district



- 1** 沼ノ内弁財天 (賢治寺)
- 2** 薄井神社
- 3** 東日本大震災慰霊碑
- 4** 弁天岬 賽の河原
- 5** 中街つつじ公園
- 6** 薄磯防災緑地
- 7** カフェサーフィン (喫茶)
- 8** HERO's DINER IWAKI (ハンバーガー)
- 9** 薄磯海水浴場
- 10** 民宿鈴亀 (宿泊)
- 11** いわき震災伝承みらい館
- 12** 山六観光 (お食事、土産)
- 13** 馬目商店 (土産)、つるや商店 (土産)
- 14** 塩屋埼灯台と雲雀乃苑

サイクリングルート「いわき七浜海道」

海岸線に沿って南北に延びる約5.3kmのサイクリングルートです。潮風を感じながら「いわき」ならではの景観を満喫できます。当館付近では、塩屋埼灯台や薄磯海水浴場を眺めながら爽快なサイクリングが楽しめます。



サイクリングアプリ



Android版

ios版

このマップは、令和5年1月の情報をもとに作成したものです。ご利用にあたっては、掲載されている情報に変更が生じている場合もありますので、十分注意してください。